ハンドボール「第32号目次」

昭和41年4・5月合併号

〔表紙写真〕
女子世界選手権大会で、日本の活躍を伝える西ドイツのハンドボール週刊誌。

私のことば
普及と強化に不断の努力を

石川県協会会長
油谷外郷

私は明大在学中にボートをやりましたが、ハンドボールは全然経験がありません。10年前に現在の石川県協会理事長の天野兵衛先生に懇請されて会長を引き受け、関係者の献身的な協力によってようやく現在に至ったしだいです。

就任いらい、つごうのできるかぎり試合を見ています。このためしだいにルールがわかって関心も深まり、チームの育成と協会の運営などについて私なりの意見も述べて情熱を傾けてきました。

高校チームの技術の向上を図るため、昭和31年5月に高校ハンドボールのチャンピオン、桜台高校（愛知県）を招いて当地の菫台高校と雨天の中で交歓試合をやりました。私たち関係者は段違いの実力を見せてもらい、その練磨されたすばらしい技術を桜台高校によって教えられました。それからというものはハンドボール競技の普及向上を目ざし、当地方では特に大事な冬季トレーニングを始めました、技術講習規則解説、審判員の養成など、ともかく着実に根気よく積み上げてきました。また「教員日本一」を誇る大阪教員クラブの村田弘先生を中心に毎年指導していただき、昭和35年39年に大阪教員を招いて講習会を開きました。男子7人制世界選手権大会に出場したトップクラスの選手も含まれ、その卓越した妙技を目の当たり見ることができましたこれが私たちにとって大きな刺激となり、そのご好意とご協力にたいし深く感謝しています。

最近は有望な高校、一般チームをチェックして旅費の補助制度をとり、県外に遠征させて強化と根性づくりに発奮を促しています。こうした地道な歩みを続けた結果、チームの数も年々ふえ、現在一般男子10、実業団男子4、高校男子14、女子4となりました。昨年には第1回の県実業団選手権大会を開き、これによって県下のハンドボール人口が急激に増加し、組織が強化されてきました。実にうれしいことです。しかし私はこれだけで決して満足しているわけではありません。なお多くの問題点があり、今後関係者の深い理解と協力を得てこれが打開に不断の努力をしたいと思っている。

次にこれを要約すれば、（1）中学校の普及度が低い（2）チームが偏在している（3）技術は全国的レベルからみれば、まだはるかに低い（4）専用のコートがない。私は普及のために、これからも関係者の指導のもとに大いに努力していく覚悟です。（了）

才6回男子7人制世界選手権大会

日本はB組から出場 再びノルウェーと対戦

1967年1月・スウェーデン

第6回男子7人制世界ハンドボール選手権大会は来年1月12日から21日までスウェーデンで開かれるが、IHF（国際ハンドボール連盟）は4月3日コペンハーゲン（デンマーク）で組み合わせ会議を開いた。この結果、次のように組み合わせが決まった、日本はBから出場する。

◇A組　スウェーデン（地元開催国）、ユーゴ、ポーランド、スイス

◇B組　日本（無条件出場）
西ドイツ、ハンガリー、ノルウェー

◇C組　ルーマニア（前回優勝国）、ソ連、東ドイツ、カナダ

◇D組　チェコ、デンマーク、フランス、チュニジア

「日程」

◇予選リーグ　1月12日—15日
◇準々決勝　17日—18日
◇準決勝　19日
◇5—6、7—8位決定戦　20日
◇1—2、3—4位決定戦　21日

前回の順位

1. ルーマニア
2. スウエーデン
3. チエコ
4. 西ドイツ
5. ソ　連
6. ユーゴ
7. デンマーク
8. ハンガリー
9. アイスランド
10. 東ドイツ
11. 日　本　1勝2敗
ノルウエー
スイス
14. フランス　(0勝3敗)
米　国
アラブ連合

相手に不足なし（B組）

この組み合わせを見ると、13チームは前回にも出場している。新顔は米国に代わってカナダ、アラブ連合に代わってチュニジア、アイスランドに代わってポーランドが出場する。

日本は前回と同じようにアジア地区の代表として無条件出場（優先）が認められ、B組から出場する。B組には伝統の西ドイツがいる。世界選手権大会で西ドイツと対戦するのはこれが初めてである。勝負は別としても非常に心強い。ハンガリーは前回8位のチーム。前回日本はノルウェーに予選第1戦で18—14で勝っている。日本としてはこれまでになく、やりがいのある相手である。つまり相手に不足のないチームだ。

C組は激戦

優勝候補をグループ別に見ると、3連勝をねらうルーマニアを筆頭に、チェコ、スウェーデン、西ドイツというところ。いちばん激戦を予想されるのはC組である。ルーマニア、ソ連、東ドイツの東欧諸国がひしめき合い、勝ち負けはもちろんのこと、得・失点が大きく響くほど熱戦となるのではないか。おそらくこのC組で1位にったチームがペナントを握るものと思われる。最近のソ連、東ドイツは実力をつけてきたし、逆にルーマニアはたびたびの遠征試合で負けたり苦戦したりして、第5回大会当時より力が落ちているといわれている。前回ルーマニアは、予選でソ連に16—14とわずか2点差で勝っているが、今度はそうはいくまい。それに東ドイツも数多い国際試合で大いに自信をつけている。この大会ではこのC組がいちばん見ごたえがあるといっていい。

チュニジアに期待

A組はインドアに古い球歴を持つ地元スウェーデン（前回2位）、それにユーゴが強い。D組はチェコが強い。あとはデンマーク、フランスの争い。初出場のチュニジア（アフリカ代表）がどこまでやるか期待したい。

◇ヨーロッパ予選の組別出場チーム

（A組）　チェコ、ノルウェー
（B組）　西ドイツ、スイス
（C組）　ソ連、東ドイツ
（D組）　デンマーク、ポーランド
（E組）　ハンガリー、フランス

◇大陸別

（アジア）　**日本**
（アメリカ）　**カナダ**
（アフリカ）　**アルジェリア**
（地中海）　**ユーゴ**

世界選手権ヨーロッパ予選成績

▽B組
スイス　14—13　西ドイツ
スイス　31—14　ベルギー

▽C組
東ドイツ　24—16　ソ　連
東ドイツ　26—16　フィンランド
東ドイツ　27—9　フィンランド
ソ　連　24—15　フィンランド

▽D組
ポーランド　27—19　アイスランド

▽E組
ハンガリー　26—17　スペイン
ハンガリー　24—15　スペイン
ハンガリー　10—10　フランス
引き分け

▽その他
ユーゴ　23—11　イスラエル
米　国　26—24　カナダ

以上の記録はフランスのスポーツ紙「レキップ」に掲載してあったものです。全部の記録の収集に努力していますが。本号はその一部です。

ハンドボールは666万円
国際交流予算決まる

日本体育協会の競技力向上委員会は3月25日に東京・代々木の岸記念体育会館で総会を開き、総予算3億2300万円の41年度事業計画を承認した。このうち国際交流予算総額は1億2000万円（19競技団体、224人分。ただし半額は競技団体自己負担）で、ハンドボール666万円（12人）となっている。

なお国際交流予算はこの日の総会で一応決定されたが、今後の個別折衝で一部修正される場合もある。

競技別	金額	派遣人員
バレーボール	1.676	30
スケート	1.443	26
体操	1.332	24
陸上	1.179	25
バスケット	862	13
ボート	721	30
ハンドボール	**666**	**12**
レスリング	583	13
スキー	556	9
水泳	528	12
重量あげ	499	9
ライフル射撃	444	8
ゴルフ	396	9
バドミントン	331	7
庭球	227	5
馬術	222	4
クレー射撃	111	2
フェンシング	109	2
ヨット	55	1
計	12,000	224

会期中、最高50万円
国体全選手に傷害保険

体協の国体委員会はことし大分県下で開かれる第21回国体秋季大会から参加選手全員に傷害保険をかけることをこのほど決めた。3月16日の体協理事会で予算の承認を受けたのち29日の総会で正式に決定する。

これは昨年の岐阜国体のラグビーで県立福岡高の岡部文明選手（当時2年生＝(18)）が練習中首の骨を折る重傷を負った事件をきっかけに出場選手の万一の場合の保険を考えることになったもの。

被保険者は冬、夏、秋各大会の参加選手全員で約15．000人程度と見られ、払い込み総額は750万円、うち3分の2を体協が負担し、残りを選手所属の各都道府県が負担する。

なお保険金額は最高50万円（死亡もしくは廃疾者となった場合）保険期間は大会会期中となる予定。

国体の性格から当然

東俊郎国体委員長の話　国民のスポーツである国体の性格からいっても、国体でケガをしたり災難にあった選手を保障するのは当然だろう。細目についてはこれから検討するが、大分大会から実施する方針だ。

6月1日、全国的に
初の「スポーツ人口調査」

体協の競技力向上委員会（近藤天委員長）が企画している初の試み、全国のスポーツ人口調査は6月1日（予備調査は4日上旬）全国一斉に行なわれることがこのほど決まった。調査は各都道府県体協、同競技団体を通じて行なわれるが、これで中学、高校、大学一般の各分野における競技人口と競技種目の実態がつかめるものと期待されている。

調査の対象は中学生から大学生までと、一般は5歳単位（たとえば25歳30歳35歳）の男女に分かれている。従来は体協に加盟している各競技団体（36）の登録メンバーがスポーツ人口とされていたが、これはごく限られた数。今度の調査は今秋まとまるが、この結果たとえば中学生のうちでどういう競技をどれだけの生徒が行なっているか？という数字がはっきりする。

競技力向上委員会ではこの実態をつかみ、これに立脚してトレーナーやコーチの養成、さらにはスポーツ施設対策など競技力のレベルアップの材料にしたいとしている。

文部次官通達を再検討

3月25日の競技力向上委員会総会で普及小委員会から41年度事業計画の一つとして文部省と折衝し①小、中学校の体育時間数の増加②中学生の対外試合を禁止する文部次官通達―などの再検討をしたいとの報告が行なわれた。

また各都道府県および地方体協の協力を得て全国のスポーツ人口調査を6月1日に実施し、そのテストケースとして4月1日に実施し、そのテストケースとして4月中に千葉、栃木の両県で予備調査を行なうことになった。

またトレーニングセンター小委員会関係で東京オリンピックの残余財産のうち①3億9000万円で東京代々木のオリンピック選手村跡に総合室内トレーニング場と織田フィールドを中心とした総合球技場を建設する②同財団を通じ全国都道府県にスポーツ施設費として平均500万円が配分され、このうち埼玉県では配分金に自己負担金を加えてオリンピック記念スポーツ会館が建設されるとの報告があった。

日中交流を促進

体協の日中スポーツ交流担当の保坂周助、山口久太の両理事は、3月25日正午から東京・渋谷の岸記念体育館で日中文化交流協会の白土吾夫事務局長、村田久平事務局次長と懇談①日本と中国のスポーツ交流を今後とも交流協会を通じて促進する②現在、中国はテニス、スケート、バレーボール、卓球の4種目がIF（国際競技連盟）に加盟しているだけで、全面的な交流までにはなお多くの障害があるが、卓球など支障のない種目からどんどん交流を行なう。将来は全面交流の線に沿って努力していくことなどを申し合わせた。（スポーツ日本新聞から）

予算編成と決算報告について

―一般の個人登録費は100円に―

日本協会常務理事　加藤裕策

39年度予算

昭和39年度の決算、昭和40年度の追加予算、41年度予算は2月26日の定例評議員会で決定された。これはすでに本誌31号で報告ずみであるが、内容について特色ある点を若干記してみると次のようになる。すなわち一般会計、機関誌会計、国際試合特別会計の総収入は、実に1・500万円余で内訳は一般会計で650万円、機関誌会計で150万円、国際試合会計（フランスのステラとの親善試合関係）が700万円である。

総合収入の1・500万円はもちろんのこと一般会計の650万円の決算額に比べてもあまりに小さすぎる予算だといわざるを得ないが、それにはそれなりの原因があったといえる。

予算案作成技術が残念ながらしろうとの集まりで拙劣であったためと、国際試合関係によくある事例であるが、年間計画が年度開始前に組めないという状況のためである。この点は日本のハンドボール界の実力とでもいおうか。

40年度追加予算

40年度予算の追加額は650万円である。当初予算額が350万円たらずであるからさきに39年度決算のところで述べたとおり、当初予算のたて方があまりにもズサンだっといわれても仕方がないわけである。この点もさきに述べたような理由によるものでご了解願いたい。

ところで追加予算の内容であるが、そのおもなるものをあげると第3回女子7人制世界選手権派遣のための強化費、男子ナショナル・チーム強化費、高校韓国遠征チーム強化費、都道府県開催の各種講習会への講師派遣費などである。これに加えて、昨年11月21日の式場隆三郎会長の死去に伴った費用で、実際にこうして支出されるであろう金額は270万円である。

残りの380万円は追加予算編成時の基本方針でもある「年度当初の事業計画、予算計画の充実した検討、とくに評議員会の意向の尊重を基本として追加予算は40年度中にぜひとも遂行しなければならない事業に限定して編成する」に従って41年度の予算のうちで処理されることとなったのである。

41年度予算

予算の金額に関連した事項を述べる前に、40年度から予算の一部として定められた予算総則のなかで、第3条の登録金のうち、一般の個人登録費1人当たり200円が100円に、第7条の機関誌購読料にかんし（12回発行予定）の削除、第10条の収入が予算額を越えた場合の支出方法、すなわち俗にいう弾力条項の削除が評議員会で決定したことについて解説したい。

まず第一の個人登録金を半額に値下げしたことである。これは日本ハンドボール界の最大目標である底辺の拡大のためには、どうして採用すべき予算措置であるという意見に従ったものである。一般チームは実業団など比較的財政上に困難のないところは別として、いわゆるクラブチームはクラブ員の1人1人が、ポケット・マネーを出し合ってハンドボールを楽しんでいるのである。県大会以上には当分出られそうもないチームにとって正直のところ日本協会に正式に登録するための3700円は負担として大きい。少しでも負担を軽くして登録チームの増大を図ることこそ日本ハンドボール協会のとるべき方策である。その結果、個人登録金の100円に値下げとなった。これを40年度の登録からみれば約35万円の減収となる。しかし250たらずの一般チームにたいして一挙に5割近いチーム数の増加がなければ、その点での収入減で免れぬことを知っておく必要がある。

次に機関誌の12回発行の削除である。40年度11回しか発行できなかったのは、読者にたいする裏切りではないかという反省から、これも理事会の段階で修正したのである。これについては多少弁解がましくなるが、予算は人件費を一般会計で支出してなお10回発行分の金額しかなかったのである。それをどうやら11回までこぎつけたということの方が真実であったのである。

最後の弾力条項の削除である。これは執行部にとってはもちろん、日本協会全体としても臨時のことに即応できるよい制度と思っている。しかし39年、40年と続いた当初予算と決算との解離があまりに激しかった結果として、やむをえない結論だと考えている。

さて予算額の内容であるが、前号を読んでもらえばわかるので簡単に述べさせてもらう。ひとことでいえば、今度こそ予算らしい予算への第一歩を踏み出したものと考えている、それは第一に一般会計、機関誌会計、国際競技特別会計のすべてを通じて、年間の全事業計画に基づいて作られていることと、それに従来、日本協会の事務費の計上だけで精いっぱいであったのが、事業費として40年度の追加予算に続いて男女ナショナル・チームの強化費、第6回男子7人制世界選手権大会派遣費、各種講習会、ハンドボール少年団費などの日本ハンドボール界の底辺拡大に、大いに力を注ぎ始めることのできる予算案ができあがったものと考えている。　(了)

41年度中央審判講習会

背番号は同一のものを望ましい公認シューズ

3月に大阪・横浜で

恒例の日本協会主催の中央審判講習会は3月21日大阪市阿倍野区・桃山学院高校体育館で、また3月30日横浜市中区・横浜文化体育館で全国からそれぞれ百余人の参加を得て開催した。

今回は競技規則の改正はなく、規則書を見やすくするために、規則書の左のページに「競技規則」を、右のページに「審判申し合わせ事項」「注」「図」および「表」を競技規則の条文と対照の位置に配置した。また従来「審判必携」として別冊であった「審判にかんする留意事項」「競技の運営」「レフェリーのゼスチャー」を競技規則書に収録した。さらに新しく競技場の設営、得点掲示板作成の基準図を巻末に加えた。これらの意図するところは、競技規則書を一冊見ることによって少なくともハンドボールの競技にかんすることが、すべて解決されるようにしようとするところにある。

今回の改定に伴って新しく追加された点がある。これは従来も要望されている事項であったもの、および内容的には変更はいいが、誤って適用されている向きもあるので文章化したものである。これらについて念のため、説明を加えて徹底を期したいと思います。

※競技者の服装（17ページ注）

「……。背番号は大会申し込み番号と同一でなければならない」。

このことは従来、大会ごとに要望されていたことが今回明文化されたものです。大会運営上からも、一般の観衆にたいしてもまた報道関係者にたいしても、プログラムにある番号と同じ背番号をつけてプレーすることが要求されることになった。したがって15人を大会申し込みとする全日本選抜選手権大会においては、1－15番までのユニホームが必要となり。そしてその大会期間中、プログラムにある番号をつけてプレーすることになる。

（なお1行目にありる「軽い靴とは……」の靴については、日本ハンドボール協会公認のハンドボールシューズを着用することが望ましい）。

※退場の区別（71ページ）

退場の反則をとる場合に、誤って適用されている場合があるので、この点を明らかにするために新しい文章が追加された。誤って適用されている場合というのは、たとえば「不正交代」による2分間の退場が「粗暴な行為」による退場の（1）2分（2）2分（3）2分（4）5分（5）残り時間、のなかの2分の退場の一つに数えられている場合などのことである。17ページの文中にもあるように

「◎退場の反則をとる場合には、その反則の種類によって上記系列による（上記の順で）退場がとられるべきであって、これを混同してはいけない」のである。

以上のように今回は競技規則書の改定と、これまで不文律であったものが文章として出たことと、これまで行なわれていたことの確認という点が今回の注目点である。

講習会でこれら改定の趣旨の説明が行なわれ、審判技術の実技研習に重点が置かれた。とくに近い将来に上級申請をされる人たちに実際に審判をしてもらいたい。それらについて活発な討論が行われた。

最後に、従来の年度初めの審判講習会には新しい競技規則書が間に合わず、改正点のプリントで行なわれていた。今回は講習会に間に合わせるため努力しました。その結果、じゅぶんな校正の時間がなかったために、誤植が多く、ご迷惑をかけたことを深くおわびします。

（日本協会審判部安藤純光）

〔注〕11ページから続く

したあと数歩後ろにさがる（相手の不意の逆襲攻撃に備えるため）。2の選手がボールをキャッチした瞬間に3－3攻撃から2－4攻撃へのフォーメーションの変化は完全に完了する。

これを早く行なうことによって、攻撃チームは右サイドで目的とした守備側を上回る人数を獲得している。これからは得点のチャンスがたぶんに生れるとともに、すでに2の選手は切り込むことによってシュートのチャンスを持っていることになっている。この切り込みの試みはまず失敗することはあるまい。しかしながら、より重要なものは次のことをよく知っていることである。

2－4の攻撃フォーメーションの準備段階がこのときに出来上がったことである。この2－4攻撃は5－1防御にたいしては、すこぶる有効な攻撃方法であることを銘記しておいてほしい。

1966年の展望（上）

芝浦工大、再び不動の王座へ

おもしろみ増した実業団球界

杉山茂

男子　秋に中国の来日、来年1月には男子の3回目の世界選手権出場が決まっており、上位進出をねらう各チームのせり合いは、かつてない激しい展開をみせそうである。その中でも全日本3大タイトルを獲得し、再び国内最強の座についた芝浦工大の試合ぶりは今シーズンの焦点といえよう。

昨年のメンバーからGK渡辺、近藤、吉金、青山が卒業したが、近藤、近森、関根らが健在。また山田、竹内の進境で迫力という点では、昨年を上回りそうだ。早くも〃オリンピックのホープ〃と折り紙つきの大矢、高鍬の桜台コンビが入学したのも注目してよい。GKは山村の登用となろうが不足はない。

昨秋の関東学生リーグいらい公式戦16連勝だが、先輩の築いた47連勝（34年7月～35年11月）にどこまで迫るか。他チームをしのぐスピード、厚い選手層、記録更新も夢ではない。

巻き返すか大崎電気

芝浦工大の連勝にストップをかけるとすれば、大崎電気（埼玉）、立大、同志社大、関学、大阪イーグルスの5チームのいずれかであろう。これらのチームは同時に全国大会の有力優勝候補でもある。大崎電気は昨年3つの全国タイトルを手中にしたものの、国体（一般男子）と全日本実業団での優勝は他チームとの力の差を考えた場合、当然の結果である。

むしろ、全日本選抜選手権で3位に終わったときは、現有メンバーの限界説がささやかれるなど不本意ともいえるシーズンだった。ベテランを軸に、試合構成力では相変わらず抜群の存在だが、スピードに欠け、いちじほどの〃すご味〃がなくなったのは否定できない。竹野、井上、GK福本ら昨年とほとんど変わらない顔ぶれで、若さにまかせた学生勢の力にどう対抗するか。その巻き返しを期待したい。

立大はいまや〃日本のエース〃に成長しつつある木野を中心に、北村、東、野田らの若い力とベテラン藤城、林、GK尾形らの陣容は芝浦工大の最有力対抗チームといっていいだろう。昨年は木野がマークされるとたんにもろさを現わしてしまった。チームとしての厚味が今シーズンのカギである。

実るか関西勢の執念

関西学生勢の、打倒関東の宿願が今シーズン成るか否かは大きな興味。東西の差を決定的にしているものはスピードと気力だ。この二点の充実がなければことしも学生界の王座を取り戻すことはできまい。期待の一番手は、やはり今シーズンも同志社大であろう。昨年12月の全日本選抜選手権から、主戦はすでに新メンバーに切り替えられていたが、林、飯田、佐藤松浦、稲葉らの攻撃力はさらに安定度を増したようだ。

関学はかつての試合運びのうまさが影をひそめた。エース飯端の破壊力を西野、高須らの動きで生かすかがポイント。ことしの全日本学生（7月）、全日本学生王座決定戦（12月3日）は大阪での開催が決定しており、現役・OB一体となって、打倒関東の意欲と執念を実らせてほしいものである。

教員界の代表格大阪イーグルスの存在は無気味だ。相手チームを自分のペースに引きずり込む駆け引きのうまさは定評。昨年の全日本選抜選手権（予選リーグ）で芝浦工大を窮地に追い込んだのもそれだ。平均年齢が高いだけに迫力に欠けるのは惜しいが、東をリーダーに井上、青木、加藤、北岡、GK島崎と一流の顔ぶれをそろえ、異彩を放つ優勝候補である。

充実の第二集団

最強グループを追うチーム。この一団の充実こそトップレベルの向上につながるのだ。ことしはその期待をかけられるチームがめじろ押しなのはたのもしい。大会によっては優勝候補の一角に大きく食い込んでくると見られるのは、学生界では日体大、教大（以上関東）京大、関大（以上関西）中京大（東海）。実業団では千代田印刷機製造（東京）常盤工業（岐阜）本田技研（三重）宗形製作所（大阪）三菱レイヨン大竹（店島）住友化学菊本（愛媛）。クラブ・教員界では桜丘会（愛知）関西球友会（大阪）広松会（店島）スワロー兵庫、福岡教員、熊本教員団あたりだろう。

特に注目を集めるのは〃打倒大崎〃をスローガンに精進する実業団チームだ。ことし2月の全日本実業団選手権決勝で千代田印刷機製造が大崎電気と互角に試合を進め、勝機さえのぞかせた。それは大崎がベスト・メンバーではなかったとはいえ実業団の成長を物語っている。しかも昨年まで大崎電気を頂点にした千代田と宗形製作所の3チームによる三角形は、他チームに大きく差をつけた存在であったが、今シーズンはその型がくずされそうな気配がみえる。

躍進するか本田技研

固定化していたビッグ3をおびやかすのは巻き直しをねらう住友化学と三菱レイヨン、躍進を目ざす本田技研と常盤工業の4チームである。特に東海の両新鋭がどこまで伸びるかは見ものだ。本田は池田（新居浜工）笠松（佐野工）ら高校界のトップクラス8人を一挙に入社させ、大下、花井、GK本田ら昨年活躍の気鋭と合わせてメンバを一新。若さの不安はベテラン松岡が残留して補うことになった。

常盤は国体3位ですっかり自信をつけ、吉富、都築の巧者に吉金（芝浦工大）桃井（中京大）を

加えたのは大きい。このほか日本鋼管（神奈川）三菱重工（愛知）安田生命（東京）丸善石油（和歌山）三井石油化学（山口）らの台頭も目立つシーズンになりそうだ。また愛知、大阪、山口など実業団大会を活発に行なっている地区ではシーズンごとにレベルが上がっており、どのようなチームが飛び出してくるか興味深い。

　こうした発展の反面、経済界、産業界の不況から活動の拡大を見合わす社や、メンバー補強が思うにまかせず〝休業〟せざるせざるを得ないチームが出てきているのは、実業団球界の大きな課題となろう。全国大会では活躍した岡野バルブ（福岡）静岡日野自動車なども新シーズンの活動は〝？〟のようだ。自衛隊球界では自衛隊勝田（茨城）の試合ぶりがいい。

京大の再優勝成るか

　学生界の惑星は京大である。昨春の関西学生リーグで、だれもが予想しなかった初優勝（加盟23年目）を遂げた。そのときの主力である市橋、辻野、山口、GK今安らが健在で、攻守のまとまりは同大、関学よりも「上」という人が多い。毎年秋は学業の関係で練習不足から精彩を欠くが、春は再びタイトルを獲得する可能性が強い。私立大学に比べ、制約が多いといわれる国公立大学から優勝校が生まれることは近来にないさわやかな話題といえる。

　〝日体大のカムバック〟を待つ声を聞いてからずいぶん長い時間が経過した。現役の躍進は名門日体大クの充実にもつながるだけになおさらだ。教大にも同じことがいえる。低迷をつづけていた慶大が昨秋からたくましさを加え、上位をねらう力を備えてきた。これに刺激されて早大、明大が奮起していると聞くが、「早慶時代」「早慶明時代」の再来に希望が持てるようになったのは喜んでいいだろう。ダークホースとみられていた中大は春季合宿で百武主将が急死するアクシデントがあり、この動揺をどう乗り切るかが問題。このほか関東では日大がどこまでやるか。

　一方関西は大阪体育大が新加盟する。上位校のなかでは再出発の体制が整った桃山学院大と伝統の関大のひとあばれを期待したい。地方勢では西南学院大を成長株とみたい。

Aクラスの桜丘会

　苦況に立つクラブ界は古豪桜丘会、関西球友会、広松会あたりが全国上位の力を持っているにすぎない。桜丘会は全愛知的色彩がますます強まる傾向にあり、桜台高OBだけの〝純血〟時代をなつかしむ声も出はじめている。山田をリードマンとして新、小川、池田森田、川島のベテランに高橋実、有本を加えた布陣はAクラス。関西球友会は関西学連OBによるクラブで、昨年あたりから頭角を現わしてきた。中江、鳥井、浅野らかつての関西学生界のスターが元気で、ことしから平岩（関大）北田（立命館大）吉川（桃山学院大）らが加わる。平岩の参加はプラス。問題は練習量だが、すでに大阪室内選手権を獲得、実力のあるところを示している。国体出場を果たすようだとおもしろい存在になろう。

　広松会は広島商大OBを中心にしたチームでまとまりがある。今シーズンの活躍を期待したいのだが、開幕を前にエースの市原（元大崎電気）がプロ・ボクサーに転向してしまったのは痛い。このほか全国的レベルにあるとみられるのは函館サンダース、足利球友会（栃木）全神奈川ク、清商ク（静岡）氷見ク（富山）京都ク、高松一高OB会（香川）徳山ク（山口）熊本ク、大分クなどで、国体を控えた大分がどこまでやるか見もの。いちじ低迷していた大学のクラブチームが再び活発な動きを見せ始めるようになったのはうれしい傾向で、東北学院大OB会、滴水会（芝浦ク）法友ク、関学クなどの動きを見守りたい。

張り切る古豪、新鋭

　大阪イーグルスの進出に刺激されて教員界は意欲的である。とくに昨秋の国体予選で大阪イーグルスに土をつけたスワロー兵庫、国体優勝の福岡教員ク、熊本教員団らの古豪はことしも張り切っており、岩手教員ク、大分教員ク、静岡県教員団、桜友会（東京）らがこれに続こう。GTC（岐阜）は国体で準優勝を飾ったが、その後の成績はあまりパッとしない。

　ところで、今年から国体で各種目ごとに優勝度が採用することになり、新たな興味が加わった。過去の成績を参考にすると、男子は大阪7回、愛知6回の首位が目立ち、最近3年間は山口、新潟、岐阜といずれも開催県がトップ。女子は大阪、岡山、愛知、福岡が各3回、熊本、茨城が2回と混戦状態である。5部門に平均した力を示すのはその県の普及度、レベルを現わすことになり、どんな結果が生まれるか、これによって都道府県意識が強められることになろう。

　なお、近い将来ブロック国体が実施される色が濃くなったが、これを機にハンドボール界もブロック選手権への関心を高めるべきだと思う。（一般女子、高校は次号）

ソ連で国際試合

　4月12日トビリシ（ソ連）で行なわれた国際ハンドボール・トーナメント大会第1日で、デンマークはソ連ユースチームを22―19で破った。またソ連チームはゲオルジア・チームに26―14で勝った。

ことしの新人（女子）

▽大崎電気　山田いずみ（静岡城北高＝GK）小林八重子（静岡城北高＝FP）堀妙子（静岡城北高＝FP）山崎照子（足利女高＝FP）栗林かおる（柏崎・常盤高＝FP）木幡和子（福島・小高農高＝FP）

▽愛知紡　五十嵐明美（水海道二高＝FP）黒木芙美子（新居浜西高＝FP）前田光子（新居浜西高＝FP）尾崎敏子（新居浜西高＝GK）山下エミ子（熊本・湯出中＝GK）

数原社長、欧米へ

　三菱鉛筆株式会社社長の数原洋二氏（東京都協会副会長）は社用を兼ねてヨーロッパの女子ハンドボールを見学のため、4月24日羽田発の日航機で米国経由ヨーロッパに向かった。同氏は5月7日ハノーバー（西ドイツ）18日パリで女子の試合を見学の予定。帰国は5月27日。

—大谷武一先生を偲んで—

外　山　准　二

（現東京都協会理事長
元日本協会理事長）

さきに式場会長を失い、いままた大谷先生の訃報を聞く。まことに残念に思い感慨無量のものがある。大正年間の初めにドイツ留学から帰国された大谷先生によって、わが国にハンドボールが紹介された。このハンドボールが今日の盛況を見るに至ったのは、先生の偉大な功績のあったことを忘れてはならない。

正式に協会が発足した昭和13年2月には、初代会長平沼亮三氏の下に副会長として就任された。そして大いに活躍されていらい、終戦に至るまで、終始副会長として二代目会長永井松三氏の下でも活躍され、現在のハンドボールの基礎を築いてくださった。その後は協会顧問として目立たない存在ではあったが、いつもハンドボールの発展のようすを目つめておられ、時おりお会いするときは笑顔で私たちを激励してくださったものだ。

先生はハンドボールのみでなく、体操、ソフトボール、重量あげなどの他の団体にも関係され、本来の教職を持たれていそがしい毎日をおすごしであった。幸いハンドボールは先生の優秀な教え子の方々が、指導普及に活躍された。ことに協会発足当時はその活動は目ざましく、私もお手伝いのため全国各地の指導講習会にお伴したものでした。

昭和37年12月に紫綬褒章受章記念パーティーの席上、久しぶりに晩年の先生にお会いできた。そのときが最後になってしまいました。奥様はじめ家族の方に腕をとられて席につかれた先生を見て、ずいぶん年をとられたなーとの感を深くしました。この席でお祝いを申し上げたときも、私が自分の名前を名乗るまで先生は私をお忘れのようでした。ふだんごぶさたばかりしておりましたが、祭壇で線香のけむるなかに温和な先生の写真を前にしたとき、ハンドボール界にとって、また大きな柱を失った感を深くした。

協会発足いらい近々に30年を迎えようとしているハンドボール界に、先生のように偉大な功労者の数多くおられることをこの機会に反省し、現在の盛況をあらためて考え直してみよう。そうしたことが先生への供養にもなろうと思う。

これを機会に私たちは大先輩諸氏の功績をおろそかにすることなく、たゆまざる技術の精進を穂んで世界のヒノキ舞台におどり出していきたい。先生の霊安らかに眠りにつかれんことをお祈りして。

日ソ交流、今年は見送り

日本オリンピック委員会（JOC）は、ことしの日ソスポーツ交流について、ソ連側の計画を問い合わせていた。3月上旬、ソ連スポーツ団体連合中央協議会から回答が届き、これによるとハンドボールのソ連へ遣は見送られた。

ソ連への派遣希望はハンドボールなど10競技約130人が提出されていたが、今回の回答では2競技（サッカー、陸上）26人の招待が明らかにされただけ。

これについて高嶋理事長は「ソ連は自国の選手強化にプラスする種目以外は招待しない考えのようだ。ソ連ハンドボール協会に再交渉をしてみるつもりだが、年内の実現はむずかしくなった」といっている。

ユーゴ招待も中止

ユーゴ女子チームの来日について両国協会で折衝してきたが、ことしは諸般の事情のため中止となった。

西ドイツの技術研究(1)

本号から「西ドイツの技術研究」を掲載する。これは西ドイツのハンドボール週刊誌から抜すいしたもので、日本協会の藤本強理事に担当してもらうことになった。したがって「ベルギー体育レビュー誌から」は前号で一応完結とします。

5－1防御に対する攻撃法

3－3の攻撃フォーメーションから2－4攻撃フォーメーションへの転換

ある攻撃フォーメーションから他の攻撃フォーメーションに変化することは、生きた攻撃をするためにはぜひともじゅうぶんに発展させなければならない。それにはすばやく変化し、相手をびっくりさせ、味方に有利に展開させるようにしなければならない。このことはボールを持っているものがよく知っているような形で、守備側より多くの人数をつくり出し、ノーマークをつくるのに非常に有利になってくる。

このフォーメーションの変化は戦術の手段として他のサイドで走ることにより行なわれるが、守備陣形の集中体制をくずす第一歩になるものである。それはまず、チーム全員が準備体制をとり、戦術的に攻撃手段を変化させるようにチーム全体が目的をひとつにしてかからなければならない。5－1防御にたいしては、どのようにして3－3攻撃から2－4攻撃に変化していったら最も効果的なのであろうか。以上に一例を見ていくことにしよう。

(変化の仕方、第一の時期)

第1図

(1) ボール所有者4はボールを浮いた位置にいる選手3に直接パスするか、もしくは左のサイドにいる選手7にパス7から3にパスをするようにして、すぐに斜めに走り、前に出た守備選手の真後ろにはいり、エリア中央にもぐり込む。(走る方向とボールの方向は準備として必要なものとなる。)

変化の仕方、第二の時期

(1) ボールを持っている3の選手はボールをキャチしたあと、ノーマークをつくる。守備選手をおびき出すため前に突っ込む。攻撃選手4はこの瞬間に「守備のスキ」にスピードダッシュはいり込む。

第2図

(2) ボールの動き

a　後列中央の守備選手の位置に応じて、4の選手もしくは6の選手にパスをする。

b　4と6との選手が左手も使えるなら4にパスをし、そのあとで6にパス(バックハンドパスで)するとより効果的である。このようなパスの可能性は、3－3攻撃から2－4攻撃に変化するときにしばしば起こり、すばらしい効果を攻撃側にもたらすものである。

(3) 攻撃側の後列中央にいる選手2の選手はボールを持っている選手から離れ、さらに守備側の前に出た選出を引き離し、ノーマークになるように、前に4の選手がいた位置にはいり込み、次の変化に備える。

変化の仕方、最終段階

第3図

1または2、いちばんいいのは5にパスをし、そのあと5から2にパスする。浮いた位置にいる選手3はボールをパ

(以下5ページの最下段へ続く)

フランス「レキップ」紙から

第6回男子7人制世界選手権大会予選

西ドイツ, スイスに敗れる

—○●○●○—

東ドイツ, ソ連を破る

—●○●○●—

米国, カナダに辛勝

第6回男子7人制世界ハンドボール選手権大会の予選は、1月から3月にかけてヨーロッパ各地、イスラエル、米国でリターンマッチ方式で試合が行なわれた。来年1月スウエーデンで開かれる本大会を目ざし、まず東ドイツが出場権を獲得したのをはじめフランス、ハンガリーなど代表が続々と決まった。なおルーマニア、スウェーデン、日本は無条件出場である。以下記録はフランスのスポーツ新聞「レキップ」から収録したものです。

△シード国　ルーマニア（前回優勝），スウエーデン（開催国）　日本

△予選参加国
- （A 組）　チェコ、オーストリア、ノルウェー
- （B 組）　西ドイツ、ベルギー、スイス，オランダ
- （C 組）　ソ連、フィンランド，東ドイツ
- （D 組）　デンマーク、ポーランド、アイスランド
- （E 組）　ハンガリー、スペイン、フランス

△大陸別
- （米洲）　米国、カナダ
- （アフリカ）　アラブ連合、アルジェリア
- （地中海）　イスラエル、ユーゴ

西ドイツ —○●○— スイスに敗れる

（ジュネーブ発） 1月18日バーゼル市（スイス）で4500の観衆を前にして西ドイツと対戦したスイスは、接戦のすえ14—13で西ドイツに勝った。この試合は第6回男子7人制世界選手権大会予選B組（西ドイツ、スイス、オランダ、ベルギー）の試合である。

スイスは西ドイツチームよりもアクションが早く、またしっかりまとまっていたと思われるが、そのほかにこの試合を通じてよりよい印象を残したものと思われる。この試合は後半の20分まで両チームとも同点(11—11)、西ドイツチームは最後までリードすることができなかった。

（得点）（西ドイツ）ミューライゼン6、ムンク4、ルブキン3、シュマック1、（スイス） ザイラー5、W・エビ2、ステブラー2シュミット2、シュワイングルバー2。（1月19日付け）

東ドイツ —○●○— 出場資格を確得

（ベルリン発） 第6回男子7人制世界選手権大会C組で東ドイツが早くも出場資格を獲得。東ドイツはロストック市でフィンランドとのリターンマッチを行ない、27—9で圧倒的勝利を収めた。（1回戦は26—16で東ドイツの勝ち）

東ドイツは前半2分に6—0とリードし、ハーフタイムには14—2。後半にはいって東ドイツは自己のペースでフィンランドを押しまくった。東ドイツのボール・ティエドマンは15回目の国際試合出場で再度この大勝の原動力となった。審判はチェコのマセク氏。この試合で7MTが6本あり、3回は東ドイツで全部成功し、フィンランドは3本とも失敗した。ワルドマール・ラプッシュは得点6をあげ、東ドイツの最高得点者（2度目）となった。その他の得点は（東ドイツ）ラングホッフ5、ティエドマン4ラント、3、ガンツショ3、ゲルホエヘル2、ペツォルド2、ゾエルナック1、ロスト1。（フィンラド） アストローム4、ウィステルランド2、オエステルベルグ2、セデルロエフ1。（2月2日付け）

東ドイツ —○●○— ソ連を破る

（ベルリン発） 第6回男子7人制世界選手権大会予選C組の東ドイツ対ソ連1回戦は1日18日シュウェリンで6200人の観衆を前にして行なわれ、24—16で東ドイツが勝った。（C組はソ連、東ドイツ、フィンラスド）。

ソ連は前半1分に1—0とリードしただけ。その後ソ連は東ドイツのフォーメーションに屈服してしまった。東ドイツは前半5分で4—1とリードしていた。一面では著しく有機的に組織されたディフェンスがあり、また他の面では優秀なティエドマンにリードされた攻撃があったので、東ドイツはその後絶えず4点から8点をリードしいた。

（得点） ティエドマン5、サブッシュ4、ゲルンホエファー4、ラント4、アイシュホルン4、ゼンガー2、ラングホッフ1。（ソ連）マシュル6、セレノイ5、プハカッツ2、ペトシニ2、ウセンコ1。（1月15日付け）

ポーランド —○●○— アイスランドに勝つ

（ワルシャ発） 第6回男子7人制世界選手権大会予選D組（デンマーク、ポーランド、アイスランド）のポーランド対アイスランド戦では1月31日グダンスクで行なわれ、27—19でポーランドが勝った。アイスランドハ野性的なエネルギーで試合開始直後に2—0とリードしポーランドを驚かした。ポーランドは前半7分に3—2と

逆転した。ポーランドはそれからクロスの速度をようやく取り戻し、前半終了時には相手を圧倒していた。

「得点」（ポーランド）チッチイ6、クロセク6、ショルワ5、ザワチンスキー3、フラックザク3、ミールツジイク2、ノワコフスキー1、ザワダ1。（アイスランド）ハジャルマルソン6、クリスチアンソン3、S・アイナルソン2、ブジョエルンソン2、R・ジョンソン2、G・ジョンソン2、オグムンドソン1、オスカルソン1。

リターンマッチは2月13日レイクジャビック市（アイスランド）で行なわれる。それにしても一カ月前ポーランドがやっとフランスとの親善試合に26―23で勝ったことが思い出される。（E・ルンゲ記）

シルベストロ活躍

―○●○―

フランス対ハンガリー戦

〔ナント発〕夜のつれづれにいつも忠告をもたらすナントの引き分け試合の批評を再読していると、それが列車の中であっても、このフランスの無名のチームに驚かされる。選手の個性がチームの個性と最後の15分間の戦闘の激しさで打ち消されている。

だからよきにつけ悪きにつけ、当時者というものは結末に従うことにならねばならないのだろうか。確かにそういうことはない。というのはフランス人であれ、ハンガリー人であれ最悪のもの同様、最良のものに自分の責任が束縛されていることがわかるからである。

しかしその代わりに三色旗は最初の前半に負けていても、また次に後半に立ち直りに成功しても解離させられることはないということも真実である。フランス側の形勢不利の場合は全員の調子が悪く、よくなったときは全員そろって調子がよくなった。したがって悪かった前半と調子づいてきた後半のそれぞれ真実の責任者をあばくということは不可能になる。

確かにキャプテンのシルベストロは悪い態度をとり、自分自身の手で勝利を失わさせることになった点は非難される。われわれとしてはそのことを厳格に彼に責めるつもりはない。というのは彼の武勇にかかわらず、不利な情勢下で自分自身の功名に走ることをせず、正しいことを実行し、間違いなくフランスチームに役立ったからである。

フランスのシルベストロ選手

もしフランスが1点でもハンガリーに勝っていたなら、全く客観的に今日行き過ぎた慢心を持たなかったことに感謝しているであろう。しかし事実上引き分け試合であったから、彼はかなりの成果で受け入れられていることができるのであろう。

フランス側の得点の1点はわれわれの眼には、最近ボクシングでフランスのマルティがアメリカのヘルナンデスと同意したそれを思わせるような1点から成っている。論議があり、論議されうる勝利というものは敗けたときの同情よりもより多く勝者の関心をひくものである。さらにより強い条理により、引き分け試合というものは全世界の同情を呼ぶものである。このような意味においてシルベストロ選手は正義の味方であったわけである。

大目に見るエラー

―●○●―

フランス

〔パリ発〕各人にはそれぞれ運不運がある。一つのチームとして、役割りに応じてチャンスも失策もあったので少々のエラーは大目に見ねばなるまい。またフェリナックはその停止と参加は確かであったけれども、反撃開始のとき明敏さと正確さに欠けていたと思われる。B・セルネはテレビでは有名なフェフェの代役として見もののひとつとして、試合の最も容易な部分に出ていた。彼の兄は前半の最も困難な時期を持ちこたえ試合の続行を容易にした。R・ランベールは大げさなスタイルのひらめきを持っており、名人の手からのシュートを決め、また電撃的なパスでダイナミックで困難なシュートを放った。M・ランベールとブルネットは相手の調子が落ちてきたような最もたいせつな時期に、お互いに運動能力をきそい合った。ファイエは守備に弱かったが、このマイナスを攻撃で取り戻していた。A・セルネは相手をよくいじめ、彼のすばやさでハンガリーの守備を狂わしていた。またボルツは完全にマークされてはいたけれど、その意味では自分のからだにより相手守備を閉じ込め、自分のチームの者により自由な活動の余地をつくってやったことになる。彼もまた自分の役割りを果たしていたことになる。

もしこのナントの引き分け試合の歴史に、今後名前が出ることが

あるとすれば、同じような運命—勝負の厳粛さの前に同じような足跡を残したチームの一致協力にたいする尊敬からであろう。世界選手権大会の出場資格戦も近いので、これらの問題を真剣に、苦闘するまでに取り上げたからといって三色旗を非難することができるであろうか。というのは、これからフランス代表選手を多数集めねばならないのだから、いままで知らなかった若手選手の足跡を知ることができたと思う。（ジャック・マルシャン記）

ハンガリー —○●○— スペインに大勝

（マドリード発）第6回男子7人制世界選手権大会予選E組（ハンガリー、フランス、スペイン）のスペイン対ハンガリーのリターンマッチは1月31日マドリードで行なわれた。約4000の観衆に勇気づけられたスペインは、前半5分に3—1とリードを奪った。しかし前半7分に、3—3とハンガリーに追いつかれ、前半は13—10とハンガリーがリードした。スペインのGKエルドシアは前半14分にモリナと交代させられた。

後半もハンガリーは17—10と優位を保ち、スペインの反撃をふり切った。

スペインは一カ月半前のタタ市での試合と同様26—17で敗れた。（第1戦は24—15でハンガリーの勝ち。

この敗戦でスペインはかなりのショックを受けた。スペインにとって、世界選手権大会の大会場であるスウェーデンに行く唯一のチャンスは2月13日ボルドー（フランス）でのフランスとの試合に勝つことしかない。しかしそれもかなりむずかしくなってきた。この9点の差は実力差をはっきりさせた。

ハンガリーは確かに優秀であった。その点はだれもが認める。しかしたとえスイスの審判がその判定において常に正確だったとしても、その点観衆から何回か抗議が出されたが—そのことによりハンガリーの勝利は変わらなかったであろう（2月1日付け）

米国 —●○●— カナダを破る

（ニューヨーク発）第6回男子世界選手権大会アメリカゾーン予選、米国対カナダの1回戦は2月3日ニューヨークで行なわれ、米国が26—24で勝った。両チームのうち一カ国がスウェーデンの本大会に出場することになっている。

（得点）（米国）E・ジャクソン13、ビューニング4、パワー4、ジュラク3。（カナダ）ギューレン6、メツアイ6、ハーゲン5、ショルツ3。

特筆すべきことは、元パリ選抜チームの選手であったモーリス・バイルがカナダのハンドボールの開拓者のひとりとなっており、米国にたいして1点かせいだことである。（2月4日付け）

ユーゴ —●○●— イスラエルに大勝

（ベオグラード発）ユーゴは3月20日テルアビブで行なわれる第6回男子7人制世界選手権大会予選のリターンマッチをイスラエルと行なうが、1回戦での得点差12点のアドバンテージを有している。1回戦は23—11でユーゴの大勝に終わった。

（得点）（ユーゴ）フラバット7、デカリス5、バイカン4、コシジャン2、ジェチック2ブジェゴジェビック2、コプリビカ1。（イスラエル）ジェリミ4、センダー3、ラジル2、ミカエル1、エルサリミ1。（2月2日付け）

72年五輪に4都市立候補

ハンドボールの36年ぶりの復活が決まった1972年（第20回）オリンピック大会の開催地は、4月21日からローマで開かれるIOC（国際オリンピック委）総会で決められるが、このほどその候補地の申し込みがしめ切られ次のように発表（2月20日ロイター＝共同）された。

【夏季大会】　モントリオール（カナダ）マドリード（スペイン）ミュンヘン（西ドイツ）デトロイト（アメリカ）

【冬季大会】　札幌（日本）バンフ（カナダ）、ラハチ（フィンランド）ソルトレークシティ（アメリカ）

ハンドボールが実施されるとみられる夏季大会の候補地の中では、第18回東京都（アジア地区）第19回メキシコ市（アメリカ地区）で開かれたので、ヨーロッパ地区のあとミュンヘンまたはマドリード説が強い。そうなればヨーロッパはハンドボールの世界で最も盛んな地区だけに、熱狂のうちに競技が進められることだろう。

×　×　×

時評

再びハンドボールの人気について

30号の時評でハンドボールの人気についてふれたところ、多くの投書をいただいた。そしてそのほとんどが国際試合における観客動員数についてである。前回にあげた二つの例（全日本対西ドイツ、全関学対ルーマニア）をしのぐ試合がいくらでもあるというご指摘だった。

筆者はそうした実績を知らないわけではない。しかし観衆4万といわれた全東海対西ドイツ(31年9月・名古屋)をはじめとして〃万台〃の観衆を集めた数試合のその観衆の大部分は〃団体客〃ではなかったか。強制された観衆よりも、自主的に入場券を求め、試合内容に期待をかけて集まった観衆の方が多かったのは30号にあげた例の2試合以外にないといいたかったのである。そしてこれからのハンドボールは、そうした方向に向かっての努力を進めるべきだと強調したいのだ。

全関学対ルーニア（31年6月）の前に、ある関学OBが「客の頭数だけをそろえる必要はない。むしろこの試合を心から期待しているファンだけに集まってほしいし、そうした人がどのくらいいるのかのテストですよ」といっていたのを覚えている。そして筆者はこのOBの意見に大いに共鳴したものである。

有料観客を必要とした場合、関係者の考えつくのは十年一日のごとく、その対象は中・高校生の団体動員である。その方法に意義がないといわない。しかし、それ以外に観客の動員についてどれだけの研究と努力がされてきただろうか。国際試合を前にある人が「入場券をプレイガイドで売ったら」と提案したら「売れてもその数は知れているから」という意見が圧倒的だったそうだ。

中・高校生の団体動員でハンドボールを理解してもらう一方、背広のファンを積極的に誘う方法を考えるべきだ。初めのうちは微々たる成果でも将来を考えたらそれは貴重な一石ではないか。それと毎回のことながら、報道関係者への働きかけに万全の処置をとるべきだ。話は横道にそれるが、全日本選抜、全日本実業団と記者席の盛況はかつてないことだった。しかし、主催者は努力しているところは見えるものの必ずしも完璧とはいえない。

国内のトップ地区と自他ともに許するブロック選手権大会で、記者席を作ったまではよいが、それが地元役員の談笑の場となっていたのを責めるわけにはいかないだろう。

サッカー人気の急上昇、ラグビー、バレーボール、バスケットボールの安定した観客動員、そして最近はテニス、軟式テニスも室内競技を開いてファンを獲得している。ハンドボール界も大衆の中にいかにとけ込むかをじっくり研究することが必要だ。

楽書帖

いまや結婚ブーム!!

鶯尾武治

○…ハンドボール界は、いまや結婚ブーム。聞くだけで楽しくなる。3月31日に元愛知紡の名選手だった〃ヨネちゃん〃こと塚原米子さんが日体大出の田中稔君(東京・若林中学勤務)とめでたく結婚式をあげた。お仲人は茨城県協会の染谷秋之助会長。昨年12月の全日本選抜選手権大会のとき、きれいな娘さんがいるなーと思ってよく見たら、それがなんとヨネちゃんだった。きっといい奥さんになるでしょう。

○…レナウン工業の山田帆浪さん（日体大出）も結婚のため2月退社し、郷里岩手県花巻市の実家へ帰って行った。帰郷する二、三日前に大崎電気を訪れ、大崎電気の女子チームとしばし名残りを惜しんでいた。「花巻へ帰ってもハンドボールは忘れません。今後はハンドボール愛好者としてゆっくり見物させていただく。もし時間的に余裕があれば、クラブチームをつくってボールを握ってみたいと思っています。日本のトップレベルの女子実業団の試合が見られないのが寂しい」としんみりしていた。11月ごろ挙式とか。おめでとう。

○…5月になると大崎電気の高橋滋夫君（日体大出）が同社の伊藤せつ子さん（静岡城北高出）とめでたくゴールイン。なにしろ昨年の夏ごろに突然〃婚約〃を発表し、大崎電気の女子の連中を驚かせた。それまでだれも気がつかなかったとか。新郎新婦(?)の意気の合った巧みなダブル・フェイントに見事ひっかかったというわけ。婚約を発表してからというものは女子たちはこの若いカップルにアテられどおし。キャップテンの宇井敬子さんに、「そろそろ年ごろだから…」と水を向けたら「私はまだよ。それどころの話ではありません。ハンドボールに精を出し、全日本のタイトルをみんないただく」とものすごいファイト。

○…かつて大崎電気にいた田村うた子さんも白石さんも、ひと足先にスイートホームを築き、先輩、後輩をうらやましがせている。とくにうたちゃん〃は日曜日を利用しご主人の運転で東京・五反田の大崎電気五反田寮まで車で乗りつけ、甘いところを見せつけたとか。寮でわびしく生活しているチョンガー（男子も女子も）たちは、指をくわえて眺めているとか。ホントかね。レナウン工業のファイター〃ちょうちん〃こと風岡亮子さんも、いつの間にか姿を消し、〃あっ〃という間に新家庭へ。

○…このほかにも年ごろの娘さんが多いのでおめでたいニュースはたくさんあると思う。あと2、3年もするとかわいい子供を連れてハンドボールを見にくることとだろう。「あんたのところ2人?」「うちはまだ1人なの」「子供の世話に追われてハンドボールを見るヒマもないのよ」こんなことになるだろう。全く楽しいね。

私は考える

球界パトロール

田村正衛
（田村紡績株式会社社長）

私はハンドボール実業団チームのオーナーとして、このごろ深く、そして真剣に考えていることについて、みなさんから教えを受けたいと思ってペンを取りました。

私どものチームはこの4年間、ひたすら全日本のタイトルを目標にがんばってきました。その間選手たちの会社における勤務は一般社員と全く同じで少しの恩典も与えてはおりません。ただ毎日を夜おそくまで練習一途に続けているにすぎません。そしていまや一応その目的は果たし得たのですが、こんどハンドボールがオリンピック種目にはいったということで、私たちもまた考え方を新たにしなければならない段階に追い込まれたようです。

もともと私どもがチームをつくった動機は、彼女らのハンドボールにたいする情熱と執念とを私の手で力いっぱいに伸ばさせてやろうと考えたからにすぎません。私どものような小紡績会社では会社のPRのためというようなことは全く必要がありませんので、私の考え方はあくまでも選手自身のためにやらせたのでます。したがって選手たちにもこれを自覚してもらい「その感謝はプレーに自分の最善を尽くすことで現わしなさい」といつも言い聞かせております。彼女たちも私のこの考え方をよく理解して常に、自らを律し一般社員の模範となるよう心がけ努力していてくれます。

ところでこのごろ私は友人知己から「せっかくここまでやったのだからオリンピックはもちろん、世界選手権大会を目ざしてやらせてあげなさい」といってくれる。スポーツ人ならこの栄光を望むは当然でしょう。しかしその簡単に「はい、承知しました」とは言えない。〃参加することに意義あり〃とはいうものの、出る以上は絶対勝利を目ざすのでなければ意味がないと思うからです。

となると根本的にすべての考え方を改めなければ成し得ないことですまず。練習量の問題です。勤務の大幅カットが大きな障害になります。それに伴う体力の改造とか、より以上の根性づくりとかいろいろあるでしょう。もちろんこの苦闘を乗り越えるには選手自らの強い意志によらなければならないが、周囲の理解、協力、盛り上げもいるでしょう。そのへんのカネ合いもデリケートです。そしてそてまでやり通すことが、果たして彼女たちの人間形成にプラスするかどうかむずかしい問題で残るでしょう。私はいつもこういうことを考えているのです。

〃小さな恋人〃と

球界パトロール

文通2年

一昨年2月から3月にかけて第5回男子7人制世界選手権大会でヨーロッパに遠征したとき、ずいぶん多くの人と知り合った。この人たちといまでも文通している。チェコのストホフ炭礦のかわいいお嬢さんであるベラ・ノボトナさん(12歳)、フランス西部のナント市のジャン・リアラン君（太西洋岸ハンドボール協会役員）イスラエルの新聞記者アレックス・ドーロン君（マリーフ・ディーリー紙）、チェコのチェテカ通信社の運動部長カーレル・ブレシュ氏、同社のオペレーターであるスハネク君などがそれである。〔写真はベラ嬢〕

なかでも12歳になるベラ嬢とはおもしろい出会いである。ストホフの幼稚園を見学したあと、バスに乗って試合場に行くときのことである。私がバスのステップに足をかけたとき、いきなり私の手を引っ張る女の子がいた。そして小さな紙切れを渡して「ナスクレダノウ（さよなら）」と言った。私も覚えたての「ナスクレダノウ」と言ったら、ニヤリと笑った。それでこの紙切れを見ると、これがなんとベラ嬢が書いた自分の名前と住所である。私はとっさに思った。〃日本へ帰ったら手紙をください〃ということ。私はすぐノートに記入した。帰国したら、このかわいい〃小さな恋人〃に手紙を書こうと決めた。

帰国して1週間後にこのベラ嬢に日本の絵はがき、オリンピックの絵はがきを航空便で送った。1カ月後にベラ嬢から返事。チェコ語なのでチンプンカンプン。たぶん「どうもありがとう」と書いてあるのだろうと思った。1週間もしたらまた航空便。大きな袋である。開けてみたらチェコの新聞である。赤くエンピツで写真を囲ってある。よく見ると、日本チームとストホフ炭礦チームとの記念品を交換している写真なのだ。ストホフ炭礦の最高責任者と渡辺団長が握手している。

次のページを見ると、子供たちの顔写真が30ばかり掲載されている。そのなかに赤いエンピツで囲ってあるのに気がついた。矢印がしてあり「VERA」と書いてある。「これがVERAなのか」と急にうれしくなった。紙切れを渡されたとき、急いでいたのでベラ嬢の顔をよく見ることができず、どんな子供かと考えていたからである。そういえば、私のカメラに数人の子供たちの姿が収められていたのに気がつき、すぐ焼き付けてみた。いた、いた。ベラがいた。かわいい女の子である。

ベラ嬢から1カ月に一度の割りで手紙がくる。最近きたたよりには「日本のハンドボールのおにいさんがたは元気ですか。あなたからいただいた日の丸のバッジは、私のきれいな箱の中に納めてあります。私の一生の記念です。日本のチームは強かった。いまでも思い出しています。私たちの町には、もう日本の人は訪れないでしょうが、チャンスがあったら来てください」と書いてあった。もちろんチェコ語だからチンプンカンプン。

これをチェテカ通信社の東京特派員であるイルジー・ボルフさんの奥さんに翻訳してもらった。手紙の最後に自分でつくった詩が書いてあった。ボルフ夫人が読んでいるうちにゲラゲラ笑い出した。「なんと書いてあるの？」と聞いたらボルフ夫人いわく「熱き接吻をおくる」。これには私も腹をかかえて笑い出した。しかし、なんとなくうれしかった。わずか1分間たらずの出会いで2年間も文通し、そして日本チームのことを思い出してくれるこのかわいい恋人の気持ち。私はハンドボールを愛好している一人として、こんなにほのぼのとしたことはなかった。私はこれからもこのベラ嬢に手紙を書こう。そして日本を知ってもらおう（鷲尾武治＝共同通信社）

球界パトロール

日本へ行ってみたい

通訳 ヤルダ君から手紙

ヤルダ君と久連松選手（大洋）

昨年10月に日本女子チームがチェコに遠征したとき、本誌31号で紹介したチェコの通訳チハコバ嬢のほかに、ヤロスラフ・プリブラムスキー君が日本チームのために通訳を手伝ってくれた。プリブラムスキー君は名前が長すぎるので自分から「ヤルダ」と称している。だから日本チームからは「ヤルダ君」で通っている。

このヤルダ君は写真で見るように、なかなかの好青年である。背はすらりとして日本チームにたいして献身的にやってくれた。ヤルダ君は日本語がうまく、日本字もなかなかおじょうず。チハコバ嬢が日本に留学するときいて「僕も日本へ行きたい」とプラハから手紙がくるたびに書いてある。日本チームのマネジャーだった岩崎美栄子さん（大崎電気）のところに月に一度必ずたよりがある。そして日本チームがチェコに滞在していた当時のなつかしい思い出を日本文で書いてくる。大崎電気の女子選手も暇をみて〃寄せ書き〃してプラハへ航空便——。

ヤルダ君の手紙の一部を掲載してみよう。原文のままです。

貴方からのお便りは2週間前着きましたが、今の日曜日に返事を出そうとしてしまいました。手紙を書くのは私にとって必ずむずかしくなくて、その暇がありましたけれど、私は長くどういう返事を書く事を解りませんでした。私に写真を送って下さいました大変有難うございました。

チハーコバー様にはきのう会いました。彼女の旅券は全くできあがりまして、出来るだけ早く日本へ出発したいです。（中略）だから日本へ行く事は必ず不可能ではないと思います。プラハー横浜ープラハの為に必要なお金を持っていますから、行って見たいと思います。しかし今年は旅券を得る事がなかなかむずかしい問題です（中略）高嶋先生はじめみなさんによろしお伝えください。

昭和41年2月20日

矢流陀より

予選を地域国体に

体協の国体委員会は3月29日に東京・代々木の岸記念体育館で総会を開き、3年越しの問題となっていた国体基準要項の改正を正式に決めた。

注目される点は、秋季大会競技の関東、関西などのブロック予選を地区大会としてまとめ、体協と開催地都道府県と文部省の共催とすることである。

これで地域予選は、地域国体として全国国体の一部となり、予算の面でも援助しうるようになる。将来は地域国体で本大会の規模の拡大を防ぎながら、地方の体育振興に役立てようというねらいである。地域国体は45年度からの実施を目標としている。また国体開催県の選手強化の行き過ぎによりジプシー選手などの問題が起きるのを防ぐため、大会参加資格を規制する細則を新たに設ける。

一、来年の埼玉国体の会期は夏季を9月17日～20日、秋季を10月22日～27日とする。

一、来年の冬季大会開催地はスケートを栃木県日光市、スキーを青森県大鰐町で行なう。

一、ことしの大分国体から参加選手1万5千人に傷害保険をかける。保険料は体協が500万円、開催県が250万円を負担する。保険金は最高（死亡または不具廃疾）が50万円の予定。

再起を待つ

球界パトロール

西村八千代さん

大洋デパートの西村八千代君は、いま熊本県水俣市西湯の児にあるリハビリテーションセンターで療養に専念している。八千代君は世界でも5本の指にはいるといわれていた選手（高嶋洌日本協会理事長の話）であったが、2、3年前から腰を痛めた。いちじはよくなり、昨年大分市で開かれた全日本総合選手権大会の決勝では、自ら5点をたたき出してライバル大崎電気を破って優勝の原動力となった。この直後、再び腰を痛めて国体、全日本選抜選手権、全日本実業団選手権にあの元気な姿を見せなかった。ことしの2月にリハビリテーションセンターに入院し、治療を始めた。大崎電気の宇井敬子さんあての手紙には次のようなことが書いてある。

「2月にはいり、水俣で療養しております。以前に比較すると、だいぶいいようです。いまはむりなことができませんので、訓練を受けながら力をつけております。からだを動かしていないので筋肉が弱っております。そのため適度な運動をやっています。

まず温泉浴場で筋肉増強の体操を1時間、パラフィン湿布といって、ロウを溶かしたもので60度ぐらいの熱さの液を腰の部分に塗ります。低周波、腰椎索引ETC。毎日朝10時から3時まで訓練士の指導を受け、1日も早くなおるよう努力しています。

私も二度とボールを握ることはできなくても、いまのようすなら案外早く昔のからだに戻るのではないかと思っています。入院したときは大阪で実業団大会。新聞を見るのがもどかしく、ケコ（宇井敬子さんのこと＝大崎電気）マコ（篠崎益野さんのこと＝愛知紡）の活躍を案じていました。私は1日も早くボールを握ってプレーをやりたい。私はハンドボールをやってきて、ほんとうによかったと思っています。こんなにすばらしいスポーツはありません。ボールが握れないのが残念です。」

八千代君があるとき「私の恋人はハンドボール」と言ったのを私は覚えている。もし第一線から引退しても、1人のハンドボール愛好者として、ハンドボールを忘れないでほしい―と思うのは私だけではないだろう。1日も早く全快することを祈ります。

5月ごろ退院ときいているので、八千代君が再びボールを握ってあのすばらしい速攻、突進を見せてほしいものだ。これは私ひとりばかりではないだろう。（幸）

ハンドボール少年団

球界パトロール

今夏 柏崎市で全国交歓会

日本協会は2月19日東京・岸記念体育館で行なわれた全国理事会の席上、底辺開発のため今夏、新潟県柏崎市で初のハンドボール少年団（小・中学生）全国交歓大会を開くことを決め、同少年団本部長には青木近衛協会常務理事を選任した。

この大会には各都道府県から1チームと地元新潟県から数チームを参加させる予定で、夏休み中の4日間（3泊）を利用してテントでの共同生活を通じて単なる競技会ではなく、生活訓練の場とするよう計画を進めることになっている。

なお、2月27日東京で開かれた全国評議員会でもこの計画の遂行を承認したが、文部省の次官通達（小・中学生の対外試合禁止）に抵触しないよう慎重な計画をねるよう要望された。

高嶋理事長の話 ことしの大会は7月下旬から8月上旬にかけて開くつもりだ。すでに予算100万円の調達も見通しがついており、底辺の拡大のために成功させたい。柏崎市を開催地に選んだのは、新潟県下の小学生ハンドボールの活動が活発なことと、国体(39年)や全日本総合（38年）の会場となった柏崎市の海岸沿いの球技場が環境的にも申しぶんないからだ。

文部省が事情聴取

この日本協会の計画にたいして文部省は、中学生の対外試合を禁止する文部次官通達にふれる疑いがあるとして、2月24日東京岸記念体育館で松島文部省スポーツ課長が高嶋日本協会理事長、野津日本スポーツ少年団本部長らから事情をきいた。

これについて高嶋理事長は『中学生をおもな対象にした大会ではあるが、あくまでキャンプ生活による生活の指導がねらいである。交歓行事やレクリエーションなどを中心にして、少年の全国選手権のようなものにはしない。しかし次官通達や教育委員会の問題にならないよう具体的な内容を再検討する』と答えた。

文部省は同大会の具体的な案が出てからその態度を決めることになったが、競技別の性格の強い少年団大会には反対の意向で、日本協会案が示されたあとの出方が注目される。

なお事情聴取後、松島文部省スポーツ課長は次のように語った。

競技会ということになれば、次官通達もあってぐあいが悪い。日本ハンドボール協会の具体案が出されたあとで、文部省としての判断をするつもりだ。しかし、ハンドボール少年団だけではなく、これからサッカー、剣道など続々こうした競技別の少年団大会が生まれるようになると、やはり問題だと思う。（スポーツ紙から）

× × ×

▽前号（31号）32ページ東海室内選手権女子準決勝第1試合のスコアを次のように訂正。

揖斐川電工（岐阜） 4 （2—12 / 2—6） 18 田村紡（三重）

実業団大会で感じたこと

ボールから目を離すな スピードを忘れるな

大阪府協会　村田　弘

男女を通じていえることだが、ハンドボールの基本はスピードである。これを忘れてはいけない。いかに高度なセットオフェンスを持っていても走力の伴わない攻撃はありえない。各チームいろいろな問題点はあろうが、会社の理解と強力なバックアップにより、選手の自覚と練習を積み重ね、体力技術を習得し、各チームきそい合ってレベル向上に努力してほしい。この大会で感じたことを書いてみよう。

馬場日本協会副会長から久連松選手（大洋）へ高松宮杯を授与

①各チームは体育館を持たないので、インドアの練習が不じゅうぶんである。

②ゲーム前の練習場所がなく、ウォーミングアップに苦しんだ。

③ボールから目を離すため、キャッチミスが多く、チャンスをつぶした。

④シュートミスが目だった。

⑤エリア近くのシュートのとき、体勢が立ちすぎている。もっと低い前傾姿勢になればボールのスピードも増し、キーパーもマークしにくくなり、選手自身のガードがよくなる。

⑥左利きのプレーヤーが多くなった。そしてチームの重要な役割を占めている。

⑦うまいパスやシュートをさせるアシスタント的役割を持つプレーヤーが少ない。全員ができるようになってほしい。

⑧敵の作戦を読み、プレーできるようになってほしい。

⑨防御の練習を計画的にやる必要がある。ただ攻撃練習のお相手に防御しているのでは練習にならない。

⑩ゲームの判断力を養うこと。

特にすぐれた選手をあげてみる。

〔大崎電気〕

竹野ー優勝戦ボーイの異名を持つぐらい優勝戦になると持ち味を発揮する根性の男。

北村、井上、餅原ースタミナにものをいわせ、よく活躍した。次代の大崎の大黒柱となるだろう。

宮原藤ー老巧さを遺憾なく発揮した。

福本ー速攻のきっかけをつかむのが非常にうまい。ボール出しの正確さとうまさは国際級。

〔千代田印刷機製造〕

青木ージャンプシュートはすばらしい。

安藤ーボールカット、特にドリブルカットは名人芸。ハンドボールをよく知っている。青木とともに千代田の中心選手。

木田（雅）ーじみなプレーヤーだが、よく前に出て好捕した。

加藤（住友化学）ーステップのロングシュートは見事。

木下（本田技研）ー気力に満ちたプレーをみせてくれた。

〔大洋デパート〕

久連松ーにくいほどゲームをよく知り、チームリーダーとなった。フリースローの名手。

新保ーカットインからのシュートとジャンプシュートは各チームに恐れられた。

中村ー強引なシュートでポイントを決めた。

〔田村紡績〕

水谷、内藤、渡辺ー個人個人の持ち味を生かし、基本に徹した多彩なプレー、シュートの威力は恐るべきものがあった。

〔大崎電気〕

宇井ーチームリーダーとして活躍した。軽快なスピードあるフットワークは天下一品。

鈴木ー変化と力量感にあふれたフットワークはすばらしい。

早川ー体格から出るロングシュートは国際級。一本目のシュートがはいれば手がつけられない。

〔愛知紡績〕

古谷ー流れるようなスピードのあるフットワークは実に見事。他の選手がこれに合わせていたら、愛知紡のポイントはふえただろう。

そのほかでは篠崎（愛知紡）川崎（大崎電気）山口（大洋）渡辺（田村紡）――この4人のGKは信頼の上に立って、よく味方のピンチを救った。（了）

もてるポロシャツ
もちたいポロシャツ
レナウンポロシャツ
ボンネル
V
RENOWN
レナウン
レナウン工業株式会社
レナウン商事株式会社
東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡

連載第21回

ハンドボール球史

～同志社大，上位に進出～

加盟校の変動が激しかった関西学連も昭和26年あたりからようやく落ち着き、西宮、藤井寺などをホームグラウンドとして順調な発展を遂げた。

そのレベルも関学の学生王座6連勝（昭24～昭29）全日本学生選抜東西対抗の西軍3連勝（昭25～昭27）など関東勢をしのぎ、球界のトップゾーンとして気を吐いた。他の学生競技は関東勢が関西勢を圧倒して行く傾向を見せ始めていたが、ハンドボール界の天気図だけは依然として〝西高東低〟であったわけである。昭和26年の活動としては、関西学連が主体となって春のシーズンに「西日本学生選手権」を開いたのが注目される。

この大会は昭和28年から「関西学生トーナメント」に縮小されたが、中国・九州地区各校の参加が地理的条件などで思わしくなかったためであろう。しかし昭和36年以後再び「関西学生」から「西日本学生」へと発展して、シーズン開幕を飾る大会として現在に至っているのは喜ばしい。

▼昭和26年季（一部）

【順位】①関学5戦全勝（7シーズン連続・7回目）②大阪歯大4勝1敗③関大3勝2敗④立命大2勝3敗⑤大阪学芸大1勝4敗⑥大阪経大5戦5敗

【二部】①浪速大

▽一、二部入れ替え戦

浪速大（二部）記録不明 大阪経大（一部）

▼昭和26年秋季（一部）

関学 20－0 浪速大
大阪歯大 7－6 関大
立命大 3－2 大阪学大
関学 5－2 関大
大阪歯大 5－4 立命大
浪速大 3－2 大阪学大
関学 11－0 大阪学大
大阪歯大 9－4 浪速大
立命大 5－2 関大
立命大 6－4 浪速大
大阪歯大 11－0 大阪学大
関学 12－3 立命大
関大 8－3 大阪学大
立命大 6－4 浪速大
関学 9－5 大阪歯大

【順位】①関学5戦全勝（8シーズン連続・8回目）②大阪歯大4勝1敗③立命大3勝2敗④関大2勝3敗⑤浪速大1勝4敗⑥大阪学芸大5戦5敗

【二部】①同志社大

▽一、二部入れ替え戦

同志社大（二部）記録不明 大阪学大（一部）

関学5度目の春秋優勝

昭和27年は波乱の少ない年であった。関学の安定した攻守は5度目の春秋優勝となり、同志社大が上位をねらう力を備えてきたのが注目された。

▼昭和27年春季（一部）

関学 15－2 同大
大阪歯大 3－1 浪速大
立命大 5－2 関大
関学 27－2 浪速大
大阪歯大 7－6 関大
立命大 4－3 同大
大阪歯大 10－6 立命大
同大 10－3 浪速大
関学 5－1 関大
関大 5－4 浪速大
大阪歯大 7－5 同大
関学 15－3 立命大
同大 7－1 関大
立命大 14－7 浪速大
関学 13－1 大阪歯大

【順位】①関学5戦全勝（9シーズン連続・9回目）②大阪歯大4勝1敗③立命大3勝2敗④同志社大2勝3敗⑤関大1勝4敗⑥浪速大5戦5敗

【二部】①大阪学芸大

▽一、二部入れ替え戦

浪速大（一部）棄権 大阪学大（二部）

▼昭和27年秋季（一部）

関学 21－3 浪速大
大阪歯大 7－5 関大
同大 8－6 立命大
関学 9－2 関大
大阪歯大 10－4 同大
立命大 10－8 浪速大
関大 9－7 浪速大
大阪歯大 10－2 立命大
関学 13－2 同大
関大 9－7 同大
大阪歯大 20－4 浪速大
関学 24－5 立命大
同大 7－5 浪速大
関大 16－2 立命大
関学 8－3 大阪歯大

【順位】①関学5戦全勝（10シーズン連続・10回目）②大阪歯大4勝1敗③関大3勝2敗④同志社大2勝3敗⑤立命大1勝4敗⑥浪速大5勝5敗

【二部】①甲南大

▽一、二部入れ替え戦

浪速大（一部）12－9 甲南大（二部）

28年春はトーナメントで

記者のメモには昭和28年春のリーグ戦記録が残されていない。その代わり次の三大会（トーナメント）が行なわれている。

▽関西学生トーナメント（4月29日～5月6日・西宮）
▽第3回西日本学生選手権（5月30、31日・藤井寺）
▽西日本学生室内選手権（6月6～7日・大阪府立体育会館）

関西学連としての春季公式戦はこのうち4月29日からのトーナメントと見るのが順当のようだ。しかしこのトーナメントのあとリーグ戦が行なわれたという説もある。とすれば、5月7日から5月29日までの間に開かれたのであろうか。翌29年春からはトーナメン

トとリーグ戦の二本立てとなり、前者はトライアルゲームとしての存在になるのだが、28年春はトーナメントだけでリーグ戦は行なわれていないと記者は思う。この原稿のしめ切りまでに、その真偽をただすことができなかったが、正確な資料をお持ちのかたはご連絡ください。

今号では同トーナメントを「公式戦」として扱い、関学の11シーズン連続11回目の優勝としておく。西日本学生はこの年が最終回となり、29年からは関西学生トーナメントに、そして36年に再び西日本学生へと発展したことは前掲のとおりである。また、当時はその将来性について全く見当もつかなかった〃室内〃に関西学生界が手をつけているのは注目してよい。

関西地区の室内に対する研究は早い。28年2月に国内初の公式大会として大阪で「関西選手権」が開かれるなど活発で、そうした刺激が学生界にも及んだのであろう。西日本学生室内は大阪歯大が関学Aを決勝で9—3で破り優勝、思わぬところで〃打倒関学〃を果たしている。この大会のあと、6月25日西宮球場でハンドボール界初の公式ナイトゲームとして第8回関学—早大、第3回同志社大—立教大（薄暮試合）の両定期戦が行なわれているのも特筆しておきたい。

室内にたいする積極的な態度やナイトゲームの開催など、関西球界のすぐれた実行力と新鮮な企画力は、戦後のトップゾーンとして支配した実力をいかんなく示したものである。

▼昭和28年春季（一、二部の区別なく16校参加によるトーナメント）

▽1回戦

関　学 28—0 大阪工大
立命大 17—5 和歌山大
浪速大 棄権 京都学大
大阪市大 11—9 京　大
関　大 24—1 神戸大
大阪歯大 棄権 阪　大
同　大 8—5 大阪経大
大阪学大 15—14 甲南大

▽準々決勝

関　学 19—5 立命大
同　大 10—5 浪速大
関　大 20—5 大阪市大
大阪歯大 19—9 大阪学大

▽準決勝

関　学 10—4 同志社大
関　大 6—5 大阪歯大

▽3位決定戦

大阪歯大 11—8 同　大

▽決勝戦

関　学 19（10—4 9—3）7 関　大

▼昭和28年秋季（一部）

関　学 34—0 浪速大
大阪歯大 6—5 関　大
同　大 9—7 立命大
関　学 14—7 同　大
大阪歯大 18—4 浪速大
関　大 13—3 立命大
同　大 10—6 大阪歯大
関　大 10—1 浪速大
関　学 19—3 立命大
同　大 13—5 浪速大
大阪歯大 12—6 立命大
関　学 13—6 関　大
立命大 12—8 浪速大
同　大 10—3 関　大
関　学 9—7 大阪歯大

【順位】①関学5戦全勝（12シーズン連続・12回目）②同志社大4勝1敗③大阪歯大3勝2敗④関大2勝3敗⑤立命大1勝4敗⑥浪速大5戦5敗

【二部】①甲南大

▽一、二部入れ替え戦

甲南大（二部） 7—5 浪速大（一部）

同大〃打倒関学〃成る

昭和29年の学生界は波乱の幕明けであった。関東側ではリーグ戦直前に主力6校が脱退して「東京6大学リーグ」を結成する騒ぎがあり、一方関西は各校が長年の大目標である〃打倒・関学〃が春季リーグ第4日に同志社大の手によって成されたのである。関学を倒すことは関西各校の宿願であり、同時にそれは関西学生界を制することにもつながっていた。

発足いらい、つねに最有力候補といわれていた大阪歯大が前シーズンごろから斜陽となり、同大、関大へその期待が移ろうとしていた。しかし春季リーグ前（29年4月）のトーナメント大会で同大は決勝で関学に6—3と敗れ、この年も関学の連勝が続けられるものとみられていた。それがストップされ関西学連13シーズン目にして初めて〃優勝〃の栄冠が関学以外の手に渡ったのである。

連勝の夢破れた関学は、秋季リーグで同大をダブル・スコアで破り、雪辱するとともに全勝優勝。余勢を駆って全日本学生王座（29年12月）でも関東代表の日体大をたたいて優勝を飾った。

▼昭和29年春季（一部）

関　学 28—1 甲南大
同　大 13—2 立命大
関　大 9—5 大阪歯大
関　学 15—6 立命大
同　大 9—6 関　大
甲南大 10—8 大阪歯大
関　学 14—6 大阪歯大
関　大 8—5 立命大
同　大 7—4 甲南大
大阪歯大 6—5 立命大
関　大 15—5 甲南大
同　大 12—10 関　学
関　学 14—5 関　大
同　大 4—2 大阪歯大
立命大 9—8 甲南大

【順位】①同志社大5戦全勝（初優勝）②関学4勝1敗③関大3勝2敗④大阪歯大・立命大・甲南大1勝4敗（最下位決定戦の結果甲南大が最下位）

【二部】①大阪市大

▽一・二部入れ替え戦

大阪市大（二部） 7—5 甲南大（一部）

▼昭和29年秋季（一部）

同　大 16—2 大阪市大
関　学 25—3 立命大
関　大 10—7 大阪歯大
同　大 10—3 立命大
関　学 15—5 大阪歯大
関　大 14—1 大阪市大
同　大 5—4 大阪歯大
関　学 15—9 関　大
立命大 12—7 大阪市大
関　学 29—0 大阪市大
大阪歯大 11—9 立命大
同　大 9—5 関　大
大阪歯大 9—1 大阪市大
関　大 15—7 立命大
関　学 12—6 同　大

【順位】①関学5戦全勝（2シーズンぶり13回目）②同志社大4勝1敗③関大3勝2敗④大阪歯大2勝3敗⑤立命大1勝4敗⑥大阪市立大5戦5敗

※二部順位及び一、二部入れ替え戦記録不明

【以下次号】

前号は編集のつごうで球史を休載しました。

東京都協会だより

○●○●○

常任理事会議事録

とき　3月11日　午後6時
ところ　大崎電気工業株式会社
出席者　渡辺和美、外山准二、安藤純光、岡前義春、宮田豊大郎、近藤金博、池田哲哉、今野邦彦

渡辺会長から議案審議にはいる前に次のような要望があった。

(A) 東京都体育協会との連絡会議が重要なものとなってきたので、常任理事の中から担当理事を出してほしい。

(B) ことに12月21日から25日まで東京体育館で開かれる全日本選抜選手権大会について、日本協会から公文書による依頼がなかった。2月19日の日本協会理事会で決定した直後これを発表してしまったのは遺憾である。日本協会は3月1日付けの公文書で開催を依頼してきた。これをどう取り扱うか審議してほしい。

(C) 全日本実業団ハンドボール連盟は2月3日の理事会で女子の日本リーグ開催を決めた。春は5月に名古屋市で、秋は11月に東京都を予定している。4チームによりリーグ戦。東京開催の場合11月28日から開かれる東京選手権大会の中に繰り入れてもらいたい。

〔議　事〕

1、40年度決算報告の件
外山理事長から別表のとおり報告があり、これを可決。

2、41年度予算の件
外山理事長から「全日本選抜選手権大会のことで、日本協会と折衝中なので、次回の常任理事会までに策定する」と報告、これを了承した。なお国際試合が東京都で開かれる場合は、別途会計とする旨補足説明があった。

3、41年度日程の件
外山理事長から別表のような日程（案）について説明があった。このうち、前に述べた渡辺会長からの要望事項について協議した結果、日本リーグの開催が正式に決まった場合、東京都選手権大会に繰り入れることを了承した。また全日本選抜選手権大会について討論を重ねた結果、日本協会に文書で問い合わせることを確認した。日程については可決。

4、第19回都民体育大会の件
ことしは例年より約1か月近くおそく、開会式は5月29日駒沢陸上競技場、閉会式は6月12日駒沢陸上競技場となりました。ハンドボールの開催期日は6月4日（土）駒沢第二、6月5日（日）駒沢第一球技場の2日間となりました。競技方法は

41年度東京都協会日程

大会名	期日	場所
都民体育大会	6月4日～5日	駒沢球技場
全日本総合都予選	6月19日・26日	都立神代高（予定）
同　関東予選	7月16日～17日	駒沢球技場
国体都予選	8月27日～28日	都立神代高（予定）
同　関東予選	9月9日～11日	山梨県塩山市
東京都選手権大会	11月28日～12月1日	東京体育館
	その他	
全日本総合選手権	8月21日～25日	浦和市
全日本教職員選手権	8月15日～17日	水戸市
国体	10月23日～28日	大分市
全日本選抜選手権	12月21日～25日	東京体育館
関東学生リーグ(春)	未定	未定
同　(秋)	未定	未定

昭和41年度登録用紙送付について

別紙のとおり昭和41年度の登録用紙を送付いたします。これは昭和41年2月26日の日本協会評議員会で決定したものです。いままでと変わった点は、一般男女チームの個人登録金200円が、100円に値下げになったことです。締めきりは5月31日です。

（1）　登録金内訳

	基本金	機関誌	五輪基金	個人登録	都協会納入金	合　計
一般	円 1,000	円 1,200	円 100	100×人員	円 500	計 2800円＋(100×人員)
大学	1,000	1,200	100		300	円 2,600
高校	600	1,200	100		200	円 2,100

（2）　登録期限
日本協会への期限は昭和41年5月31日です。東京都協会への受付期間は5月30日午後4時とします。それ以後は受付けません。

（3）　新設チームが登録する場合には、既登録者（3人以内）の名前を用紙の1、2、3（実線の太線で記してある）の欄に記入してください。

（4）　個人の追加登録は、そのチームが参加する大会の申し込み締めきり期日までならば認められます。ただし、このさいは1人の追加登録につき500円納める。

男女とも郡市区対抗です。試合方法は男女ともトーナメント、ただし女子3チーム以下のときはリーグ戦です（つまり4チームならトーナメント）

5、41年度役員の件

渡辺会長から「全員留任してほしい」むねの要望があり、これを可決した。なお最近は東京都体育協会との連絡会議が多いので、岡前常任理事を担当理事に推薦、同氏の了承を得た。

6、41年度登録の件

日本協会から41年度の登録用紙が届いたので早急に各チームに郵送する。41年度から一般チームの個人登録は100円に値下げした。従来は200円、登録締切めきりは5月31日。

7、41年度中央審判講習会の件

日本協会から中央審判講習会（東日本関係）を3月30日午前10時から午後4時まで横浜市中区扇町、横浜文化体育館で開くむね連絡があった。さっそく関係者に往復はがきで通知を出した。出席者数を25日までに日本協会に連絡する。なお東京都協会主催の伝達講習会は近く行なう予定。

—・—

—・—

40年4月—41年3月までの収支決算表

東京都ハンドボール協会

年月日	摘要	収入	年月日	摘要	支出
40・4月	前年度の繰り越し	509,896円	41. 1.20	日本ハンドボール協会加盟金	10,000円
5月	登録料			〃 機関誌分担金	6,000
	一般教員 @500×20チーム	10,000		〃 記録用紙	2,000
	大学 @300×19チーム	5,700	40. 6.22	関東ハンドボール協会分担金	2,000
	高校 @200×58チーム	11,600	41. 2.10	東京都体育協会分担金	10,000
7月	全日本総合関東予選参加料		5月	都民体育大会	16,823
	@1000×6チーム	6,000	6月	全日本総合都予選	20,320
11月	第3回東京都大会参加料		7月	〃 関東地区予選	2,340
			8月	国体都予選	32,040
	@1500×31チーム	46,500	11月	第3回東京都選手権大会	349,042
12月	第12回全日本選抜大会		12月	第12回全日本選抜大会	588,065
	参加料 @2000×16チーム	32,000	40. 7.6	学連補助金（全日本学生選手権）	50,000
	入場券、プログラム	430,000	11.8	〃（全日本学生王座決定戦）	30,000
40. 12. 8	賛助会費	70,000	11.23	高体連補助金	50,000
12.11	賛助会費	70,000	40. 4月	岡村理事中国遠征餞別	50,000
12.16	賛助会費	70,000	11月	羽田空港部屋代	5,500
	賛助会費	70,000	8月	岡前理事沖縄遠征餞別	10,000
40. 4.27	東京都体育協会より選手強化合宿費	94,600	11月	式場会長香典	50,000
	〃 種目別スポーツ研修会費	54,200		生花	5,000
41. 2.10	〃 国体城域予選補勉金	10,000		会合費（接待費を含む）	41,251
40. 5.14	教育庁体育課より都民大会補助金	22,000		役員昼食代	4,890
	〃 国体都予選補助金	24,000		通信費	24,870
	競技規則書	3,330		印刷代	10,780
	寄付金（滝川バッチ店より）	3,000		事務用品代	8,178
	銀行利息	4,655		都協会用競技規則書	750
				交通費	8,590
				雑費その他	1,870
	計	1,547,481		計	1,390,309
				次年度へ繰り越し	157,172

同大、関大破り2連勝

開幕飾る西日本学生選手権

シーズン開幕のメーンエベント、第6回西日本学生選手権大会は4月7日から4日間大阪府体立育会館に20校（関西16、中四国4）が参加して開かれた。その結果、同志社大—関大の関西同士の決勝となり、地力にまさる同志社大が2連勝した。

▽1回戦

桃山学院大 21（11—5、10—3）8 広島商大
関学 20（6—5、14—8）13 神戸大
岡山大 39（21—7、18—5）12 大阪工大
大阪学芸大 16（6—8、10—7）15 山口大

▽2回戦

同志社大 20（9—7、11—3）10 桃山学院大
京大 30（17—8、13—4）12 立命大
大阪体育大 33（15—5、18—5）10 大阪歯大
関学 24（14—7、10—8）15 大阪府大
関大 33（17—3、16—1）4 岡山大
大阪経大 24（16—13、8—6）19 大阪大
広島大 24（10—14、14—6）20 京都学芸大
甲南大 26（17—9、9—6）15 大阪学芸大

▽準々決勝

同志社大 19（8—9、11—2）11 京大
関学 34（16—4、18—9）13 大阪体育大
関大 22（9—3、13—2）5 大阪経大
甲南大 36（18—5、18—2）7 広島大

▽準決勝

同志大 23（12—9、11—11）20 関学
関大 21（10—3、11—5）8 甲南大

▽3位決定戦

関学 19（11—6、8—6）12 甲南大

▽決勝

同志社大 13（5—6、8—4）10 関大

得	【関大】		【同大】	得
0	平松	GK	林谷	0
1	滝	FP	藁科	0
1	武田		佐藤	2
2	窪崎		松浦	1
3	宮永		飯田	6
3	加古		林	0
0	多賀谷		守本	3
0	成田		稲葉	1
0	長野			

10（2）7MT（1）13

〔評〕決勝は関大が先行したが、同大はすぐペースを取り戻し3—1と逆転、それ以後は関大にリードを許さなかった。同大は去年よりも攻撃が多彩で、今シーズンも西の王座はゆるぎそうにない。関大はエース平岩の卒業の穴が心配されたが、チームプレーにまとまりをみせ、ことしの活躍は期待してもよいものがある。

その他ではやはり関学が目立ち、準決勝（対同大）でみせた試合ぶりはあざやかだった。注目の京大はシーズン初めで本調子といえず、桃山学院大も低調に終わった。地方勢は一時よりレベルが下がったようで、関西2部校の充実と新加盟の大阪体大の健闘が光った。（駒）

地方だより

同大貫録を示す

◇京都室内選手権最終日（3月6日・京都市体育館）

▽準決勝

伏見ク 43（23—10、20—5）15 京都教員ク
同志社大 33（18—4、15—1）5 京都ク

▽決勝

同志社大 32（18—12、14—5）17 伏見ク

東海協会の日程決まる

東海協会は、このほど今シーズンのブロック大会の日程を次のように決めた。

▽第18回全日本総合専海予選（6月26日・名古屋金山体育館）▽第2回東海実業団選手権（5月下旬または8月上旬・愛知県体育館）▽第18回東海選手権、第4回東海教職員、第13回東海高校（9月10—11日・岡崎北高）▽第6回東海室選手権（42年2月19日・静岡県営体育館）

◇昭和40年度岡山県高校新人大会一般室内大会

▽高校男子1回戦

児島 18—9 倉敷商
岡山工 16—13 操山
津山商 17—3 関西
矢掛 15—13 倉敷工
津山 11—6 勝間田農
天城 15—4 玉野
津山工 12—1 邑久

▽準々決勝

岡山工 16—10 青陵
天城高 18—9 津山商
児島 20—10 津山
矢掛 17—8 津山工

△準決勝

児島 15（10—2、5—4）6 矢掛
天城 19（7—3、12—5）8 岡山工

▽決勝

児島 15（1—0、2—1、7—6、5—6）13 天城

▽高校女子1回戦

金川 13—4 西大寺
津山商 5—3 井原
真備 14—9 青陵

△準決勝

真備 13（7—1、6—3）4 落合
津山商 12（6—2、6—4）6 金川

▽決勝

津山商 9（6—2、3—3）5 真備

▽一般男子リーグ

岡山教員 48（20—5、28—8）13 津山クラブ
岡山大学 41（23—1、18—0）1 津山クラブ
岡山大学 22（10—5、12—5）10 岡山教員

1位 岡山大学 2勝
2位 岡山教員 1勝1敗
2位 津山クラブ 2敗

氷見の優勝続く

◇第5回富山県室内選手権（2月5日、6日、富山市体育館）

▼高校男子決勝

氷見 10（4—4、6—5）9 高岡商

氷見は3連勝

▼高校女子決勝

有磯 13（7—1、6—2）3 高岡女

有磯は2回目の優勝

▼一般男子決勝
氷見ク 30（16—10、14—5）15 富山大
氷見クは5連勝

▼一般女子決勝
氷見ク 9（6—4、3—3）7 富山女高OGク
氷見クは初優勝

岐阜県でも中学校大会

◇第6回岐阜県西濃地区中学校室内選手権（2月6日、大垣スポーツセンター）

▼男子1回戦
赤　坂 8—5 興　文
日　新 14—2 江　東

▽準決勝
大垣東 13—6 赤　坂
大垣南 10—6 日　新

▽決勝
大垣東 12—6 大垣南
大垣東は2度目の優勝

▼女子1回戦
江　東 5—4 大垣東
大垣南 13—4 興　文

▽準決勝
大垣西 5—1 江　東
日　新 10—3 大垣南

▽決勝
日　新 10—4 大垣西
日新は初優勝

三菱重工が5連勝

◇第5回愛知県男子実業団リーグ（1月11日—18日、名古屋市金山体育館）

「一部」
三菱重工 23—19 日本碍子
大同製鋼 29—13 タヨシ産業
中部電力 17—16 タヨシ産業
三菱重工 16—16 中部電力（引き分け）
大同製鋼 20—17 日本碍子
日本碍子 18—13 タヨシ産業
中部電力 23—18 日本碍子
三菱重工 22—15 大同製鋼
大同製鋼 18—12 中部電力
三菱重工 24—16 タヨシ産業
（順位）①三菱重工②大同製鋼③中部電力④日本碍子⑤タヨシ産業

「二部」
東レ愛知 17—8 昭和染工
東レ愛知 15—9 ブラザー工
東海製鉄 37—13 昭和染工
東海製鉄 37—16 ブラザー工
東海製鉄 25—18 東レ愛知
ブラザー 27—14 昭和染工
（順位）①東海製鉄②東レ愛知③ブラザー工業④昭和染工

▽一、二部入れ替え戦
東海製鉄 20—15 タヨシ産業
日本碍子 21—16 東レ愛知
この結果、東海製鉄は一部に昇格、日本碍子は一部にとどまる。

愛知紡2連勝

◇第2回愛知県女子社会人・学生リーグ（1月18日、19日、金山体育館）
中京大 10—10 愛知実業団選抜
愛知紡 12—4 中京大
愛知紡 18—4 愛知実業団選抜

私の提案

全日本学連の活動に期待

全日本実業団連盟の本格的な活動開始で、日本ハンドボール界は三つの柱でささえられることになった。あとの二つはいうまでもなく高体連（全国高校体育連盟ハンドボール部）と全日本学生連盟である。ところで高体連、実連の充実した活動に比べて、最近の学連の動きはもうひとつピリッとしたところがない。とくに事務面では三者のなかで最も遅れており、組織内の消息がまるでわからないといった現状である。

学連の主管する大会は現在全日本学生、同王座決定、選抜東西対抗と三つあるが、表面上はどうやら運営されているものの各学連間の連絡はほとんどない。しばしば行き違いを生じて小さなトラブルを起こしているのもそのひとつの現われだ。これは現在の学連が単に地区学連の交換機関だけにとどまって統轄、連絡機関としての構成を成していないからであろう。加盟校の実数さえも掌握していない連盟でな情けない。責任者名はシーズンごとに発表されているようだが、これは執行スタッフをもたない名前だけの責任者のようだ。

十年一日無反省のまま、前年の例を踏襲しているだけではなく、1日も早くスタッフを固め、せめて「加盟校名簿」ぐらいは整備して配布したらどうだろう。韓国学生の再来日、ユニバーシアード（世界学生選手権）の参加問題など学連独自の判断で行なうべき課題は多い。名実ともに備わった学連の誕生でことしこそみられるよう望みたい。【駒沢球治郎】

編集後記

○…来年1月スウェーデンで開かれる第6回男子7人制世界選手権大会に出場する日本は、B組から出場する。この組には西ドイツ、ノルウェー、ハンガリーがいる。ノルウェーには前回18—14で勝っている。再びノルウェーと対戦するのはおもしろい。今度は勝てるかどうか。西ドイツのゲームも興味がある。

○…体協からの国際試合の予算が決まり、ハンドボールには666円。もっともこのうち½は日本協会が負担する。高嶋理事長はじめ協会役員の努力に大いに感謝する。まず手始めに9月の中国チーム。世界選手権大会への小手試しにモッテコイ。それには1日も早くナショナルチームの編成を…。

○…世界選手権大会予選の記録を集めるのに苦労した。フランスのレキップ紙、西ドイツのディ・ウェルト紙を丹念に見て拾い集めた。それでも全部は集まらない。

○…パトロールの記事の中でベラ嬢、ヤルダ君のことを掲載した。やわらかいニュースである。西村八千代さん（大洋）の再起を祈ります。

○…本号の校正と次号の編集が重なり、大車輪。（ふぐ）

日本ハンドボール協会編
ハンドボール
第三十二号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
昭和四十一年四月二十五日印刷 昭和四十一年五月一日発行
発行所 日本ハンドボール協会
東京都渋谷区神南町一二五
電話（467）三二一一
振替東京一八三四八番
編集兼発行人 高嶋冽
定価 百五十円